

朗読
芝居
小泉八雲

小泉

談

題字 水野裕子

～語り手～

森 優子

2007年国民文化祭
「語りの名人芸」出演

～脚本・構成～

鈴木之彦

2007年国民文化祭
「語りの名人芸」脚本・構成

映画監督

大澤

豊

氏

推薦

2026年7月19日(日)

～東武アーバンパークライン新柏駅徒歩20分～

～東武バス新柏4丁目バス停 徒歩5分～

瑞雲山獎覚院 法林寺 本堂一階

開場16時30分 開演17時00分

柏市教育委員会・名戸ヶ谷町会後援

入場料 一般 1500円

中・高生以下 1000円

朗読芝居小泉八雲「怪談」法林寺公演

— 推薦文 — 「超一級品の朗読舞台!!」 映画監督・大澤 豊

[語り手紹介]

森 優子 (もりゆうこ) 舞台朗読家・フリーアナウンサー。



その美しい響きの朗読は、多方面から高い評価を受けている。戦前の大俳優・丸山定夫の姪、女優・丸山由利亞に師事、主催する「語りと音楽の会」に入会し舞台朗読を学び、各公演に参加する。2002年よりOffice Y&Yにて様々な朗読舞台で活躍。2007年10月、徳島国民文化祭・「語りの名人芸」に出演、瀬戸内寂聴原作の「源氏物語・藤壺」を本人の前で朗読し絶賛される。2009年には瀬戸内寂聴記念館での太宰治生誕百年記念の朗読会を任せ、2日間で6作品を朗読する。また2012年の国民文化祭では、三人使い人形と音楽と朗読のコラボレーション舞台『新釈・姥捨山』で朗読の新しい可能性を示す。

令和元年度には朗読芝居・小泉八雲・怪談の舞台が文化庁芸術祭の参加作品に選ばれる。

日常の延長で朗読や音楽を楽しめる時間を作りたい、と始めたクラシック音楽と朗読をコラボレーションした「森優子朗読ライブ・ティータイムコンサート」をライフワークとして毎年開催。その他20名の小スペースから1200人の大ホールまで、場所を選ばず質の高い朗読会を行なっている。希望に応じて朗読ワークショップを行い、他の朗読教室では学べない舞台朗読の形をきめ細やかに指導している。

[脚本・構成] 鈴木 之彦 (すずきゆきひこ)

2002年より舞台朗読家の森優子氏とOffice Y&Yを立ち上げ、朗読舞台の脚本・構成を務める。森優子朗読ライブを始め、朗読芝居・小泉八雲「怪談」、翔び出す立体朗読「明るい太宰治」、朗読活劇「江戸川乱歩」など正統派の朗読の形、美しさにこだわり舞台作品を創りを続けている。2007年国民文化祭「語りの名人芸」にて瀬戸内寂聴氏の源氏物語「藤壺」を脚本・構成し瀬戸内氏から絶賛される。また、朗読以外の音楽コンサートや舞台の構成を独自の感覚で構成し、オリジナリティ溢れた舞台空間を創り上げている。映像・音楽・効果音を一人でこなすマルチな面もある。

[法林寺ご紹介]

慶安3年(1650年)10月に創建され、法印海珠和尚により開山されました。

法林寺の境内には、柏市内最大の樹木である「法林寺の大銀杏」がそびえています。

康応年代(1389年頃)越後の比丘尼が托鉢の途中、名戸ヶ谷の里を訪れ、この寺に一夜の宿を求めました。寺では一室を与えてもてなしたところ、翌朝出立の時、比丘尼は「何のお礼もできないが」と、いちょうの実を取り出し、「この実をまくように」と言って立ち去りました。

この実が育ち、高さ30メートル、根本の太さが周囲14メートル以上に達する樹に育ちました。また、このあたり一帯が大飢饉に見舞われ、村に食べる物がなくなった時、村人はこの銀杏の実で飢えをしのいだという話も伝わっています。

[お申込み・お問い合わせ]

TEL 04-7166-6367(法林寺)

FAX 04-7176-6264

★同時開催 幽霊・妖怪展

7月19日(日)~25日午前9時~

午後5時(19日は午後4時迄)

会場 柏市名戸ヶ谷1046 法林寺

(駐車場20台有り)

